

## 解説

家庭血圧は起床後 1 時間以内で、排尿後、朝食前に測定する。一機会に 1, 2 分の間隔を空けて 2 回測定して、その平均を用いる。医師会では朝測定値 7 日分、最低 5 日分の平均値を評価の対象とすることを推奨しているが、当院の内科医師からは最低でも 2 週間は評価した方がよいとの意見もあったので申し添えます。

いずれかの値が 135/85mmHg 以上であれば高血圧と判定する。診察室血圧と家庭血圧に分離がある場合は家庭血圧を優先する。診察室血圧が家庭血圧よりも高い場合は白衣高血圧と呼ばれるが、白衣高血圧患者は高頻度に持続性高血圧に移行するので経過観察が必要である。診察室血圧では 140/90mmHg 以上であれば高血圧と診断されるが、家庭血圧では 135/85mmHg 以上で高血圧と診断する。

解答： c

尚、この問題は日本医師会生涯教育講座コンテンツ「高血圧 (CC・74)」を参考に作成しました。